

令和4年度事業報告

1 まえがき

この報告書は、令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の事業実績であります。

2 概 況

長く続く新型コロナウイルス感染症は、今年度上半期に著しい感染拡大が生じたものの、重症化リスクの低い変異株のまん延と報じられ、感染防止と経済活動を乘せた社会の天秤は、年度途中において大きく経済活動に傾いた。

そのような中、当公社の公益事業を推進する上で根幹を成すものの一つである都市公園の指定管理は、ようやく市民の移動が自由になり、都市公園の利用集中によるトラブルも減少し、おおむねコロナ禍前の安定的な管理状況に戻ることができた。

また、近年公社独自に力を入れている季節感のある植栽や、都会的なデザインの草花育成等、植物による公園の魅力拡大も順調に進み、植物の季節変化に応じて、利用者からの喜びの声も届くようになった。

公園をベースとする自然啓発事業については、新たな自然啓発の仕掛けとしてバッタを紹介するレジャーシートやプレート、蝶の羽の垂れ幕を製作したことや、「身近な生き物」絵画コンクールが、昨年度に続き過去最多の応募を記録するなど、各種事業において着実に成果を上げることができた。

荒川河川緑地をベースとする事業については、最も懸念される台風による冠水被害を免れ、過去の台風被害や新型コロナウイルス感染防止のため3年間開催できなかった「荒川ふれあいまつり」を、最高のコンディションの下で開催することができ、河川敷にコロナ禍前を超える賑わいをもたらした。

また、「荒川の自然と遊びの教室」や「荒川の自然にふれあう会」等、子供たちと自然を繋げる事業も多数開催し、大きな効果を上げることができた。

当公社事業のもう一つの根幹を成すゴルフ場、野球場及びラグビー場の運営については、コロナ禍によって高まったゴルフ人気を一過性の現象で終わらせないように、さらなるゴルフの楽しさを提供すべく、感染防止のために中止していた各種キャンペーンや教室、体験会、ゴルフコンペを数多く再開した。

特にゴルフコンペについては、感染防止を考慮してハーフのコンペを企画、開催したところ、毎回沢山のゴルファーに参加いただき、大変好評であった。

なお、ゴルフ場等スポーツ施設において最も重要なのは、現場施設のコンディションであり、荒川河川敷に適した芝生等の育成管理について研究を重ねたことで、今年度の記録的な猛暑においても芝生等のダメージは少なく、良好な状態を維持することができた。

当公社は令和4年度の事業計画において、「環境」「健康」「防災」を公益の3本の柱として掲げ、これらの向上を目指した事業を推進してきたが、感染防止の各種規制が緩和された中で、コロナ禍前の事業展開を復活させつつ、コロナ禍で培った臨機応変な事業運営を加味して事業のグレードアップを図り、各種事業を通して市民生活に大きく貢献することができた。

3 庶務報告

(1) 会 議

会議名称	主 な 議 題
令和4年度第1回理事会 書面決議 (令和4年4月28日)	議案第1号 評議員会の決議の目的である事項及び評議員会の決議の省略
令和4年度臨時評議員会 書面決議 (令和4年5月12日)	議案第1号 監事の選任
令和4年度第2回理事会 (令和4年5月27日)	議案第2号 令和3年度事業報告及び附属明細書の承認 議案第3号 令和3年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 議案第4号 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定 報告事項 ・評議員会の決議報告 ・「ゴールデンウィーク健康増進キャンペーン」の実施結果について ・健康増進「ゴルフで歩こう!キャンペーン」の実施について ・令和4年度事業の開催日程等について ・メディアを通じた情報の発信
令和4年度定時評議員会 (令和4年6月24日)	議案第1号 議長の選出 議案第2号 令和3年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録の承認 議案第3号 理事の選任 報告事項 令和3年度事業報告
令和4年度第3回理事会 書面決議 (令和4年6月24日)	議案第5号 理事長及び専務理事の選定
令和4年度第4回理事会 (令和4年10月18日)	議案第6号 評議員選定委員会の外部委員の選任について 報告事項 ・定時評議員会の決議報告 ・令和4年度職務の執行状況 ・埼玉県公益法人検査の結果について ・「荒川ふれあいまつり 2022」開催について ・「第2回川口花火大会」協力について ・「第17回小学生“身近な生き物”絵画コンクール」について ・メディアを通じた情報の発信

令和４年度第５回理事会 書面決議 (令和５年１月３０日)	議案第７号 評議員会の決議の目的である事項及び評議員会の決議の省略 議案第８号 評議員候補者の推薦 議案第９号 公益財団法人川口市公園緑地公社給与規程の一部を改正する規程 議案第１０号 公益財団法人川口市公園緑地公社嘱託職員等給与規程の一部を改正する規程
令和４年度第６回理事会 (令和５年２月６日)	議案第１１号 令和５年度シルバーオープンコンペの開催について 検討課題 令和５年度の取り組みについて 報告事項 ・令和４年度決算見込み ・メディアを通じた情報の発信
令和４年度臨時評議員会 書面決議 (令和５年３月７日)	議案第１号 評議員候補者の推薦
令和４年度第７回理事会 (令和５年３月２８日)	議案第１２号 公益事業特別資金特定預金の一部取崩しについて 議案第１３号 令和４年度補正予算 議案第１４号 令和５年度ゴルフ場運営について 議案第１５号 令和５年度事業計画 議案第１６号 令和５年度収支予算 議案第１７号 令和５年度における荒川運動公園の災害対策について 報告事項 ・令和４年度職務の執行状況 ・令和４年度決算見込み ・令和５年度ゴルフ場運営（コンペ日程等）について ・令和５年度指名業者選考委員会の委員の指定について ・メディアを通じた情報の発信
令和４年度 第１回評議員選定委員会 (令和５年３月２９日)	議案第１号 議長の選出 議案第２号 評議員の選任

(２) 監 査

令和３年度の監査

(令和４年５月１８日)

4 事業報告

公益目的事業(1) 都市緑化及び公園緑地に関する普及啓発、利用の促進、自然環境の保全と創出、施設の管理運営及び防災機能の強化

①普及啓発、利用の促進

公園が有する「身近な自然地」としての機能に着目し、地域の自然環境保全による潤いのある都市生活実現と、未来を担う子供たちへの自然環境理解のため、公園の自然についての普及啓発に努め、利用の促進を図った。

項 目	概 要
公園の自然と遊びの教室	子供達が身近な自然の生き物とふれあうことで、地域の自然環境への理解を深め、豊かな心を育むことを目的として、都市化が進む川口市に残された小さな自然地「公園」をフィールドとして、生き物探検教室を実施した。 場 所：戸塚中台公園 対 象：戸塚小学校1年生 100人 くすのき学級 5人 開催日時：9月12日(月) 午前8時50分～午前10時20分 (1年1組及び1年3組対象) 午前10時50分～午後0時10分 (1年2組及びくすのき学級対象)  
雑木林の自然と遊びの教室	雑木林を代表する昆虫であるカブトムシを、できるだけ自然に近い状態で繁殖させる施設と、施設に入れるカブトムシを提供し、飼育を実践する中で、雑木林の仕組みや面白さを体験する教室を開催した。 なお、今年度は川口市立グリーンセンター内の林でカブトムシの自然繁殖を促進するべく、川口市が行った繁殖場所の整備に協力し、カブトムシの幼虫約630匹を別途養殖し、グリーンセンターに提供した。 ○川口市立横曽根公民館の教室 5月21日(土) 午前10時～正午 カブトムシについての講習、幼虫の観察 6月18日(土) 午前10時～正午

サナギの観察

7月23日(土) 午前10時～正午

カブトムシの成虫での遊びと卵、幼虫の観察

9月3日(土) 午前10時～正午

カブトムシの幼虫観察と身近な自然の生き物観察

12月3日(土) 午前10時～正午

幼虫の餌となる落ち葉集め

生物の冬眠に関する講義と観察

○川口市立グリーンセンターの教室

5月21日(土) 午後1時～午後3時

カブトムシについての講習、幼虫の観察

6月18日(土) 午後1時～午後3時

サナギの観察

7月23日(土) 午後1時～午後3時

カブトムシの成虫での遊びと卵、幼虫の観察

9月3日(土) 午後1時～午後3時

カブトムシの幼虫観察と身近な自然の生き物観察

12月3日(土) 午後1時～午後3時

幼虫の餌となる落ち葉集め

生物の冬眠に関する講義と観察



グリーンセンター7月の教室



グリーンセンター9月の教室

○カブトムシの養殖と養殖施設のメンテナンス

各教室で教材とするカブトムシを養殖するため、当公社内に養殖小屋を設置し、公園の落ち葉等を餌としてカブトムシを養殖した。

なお、今年度は養殖施設が老朽化したため、施設の更新を行った。

○川口市立グリーンセンターへの幼虫提供

川口市の依頼により別途カブトムシを養殖し、幼虫を川口市立グリーンセンターへ提供した。

7月～9月 産卵から幼虫飼育

9月27日(火) グリーンセンター内雑木林に放虫
(約630匹)



養殖状況



グリーンセンター繁殖場所

小学生「身近な生き物」 絵画コンクール	市内小学校１年生から３年生を対象に、身近な生き物の絵を描くことによって、身の回りにある自然を見つけ、自然とふれあい、自然の面白さに気付いてもらうことを目的とした、第１７回市内小学生「身近な生き物」絵画コンクールを開催した。 募集方法　：市内小学校を通じて募集 応募受付　：９月５日（月）～９月１６日（金） 応募総数　：３，１９９点（過去最多） 各　　賞　：各学年　入選１００点 　　　　　　うち市長賞１点、市議会議長賞１点、金賞２点、銀賞３点、銅賞５点 〔作品展示会〕 展示作品　：入選作品３００点（各学年１００点） 会　　場　：川口市アートギャラリー「アトリア」展示室Ａ・Ｂ 展示期間　：１２月１３日（火）～１２月１８日（日） 来場者数　：２，０９７人 〔表彰式〕 会　　場　：川口市アートギャラリー「アトリア」展示室Ａ・Ｂ 日　　時　：１２月１８日（日）午後３時～午後４時 表彰対象　：入賞者３６人 ※入選者への賞状等の授与については、展示会場にて来場時に随時実施した。  
緑化啓発冊子の製作・配布	① 川口自然公園で見られるトンボを紹介した看板を設置し、看板と同内容のパンフレットを看板下に備え置くことで、公園利用者が常時自由にパンフレットを持ち帰りできるようにした。 ② 新郷東部公園で見られる野鳥を紹介した看板を２基、蝶を紹介した看板を２基設置し、看板と同内容のパンフレットを看板下に備え置くことで、公園利用者が常時自由にパンフレットを持ち帰りできるようにした。 ③ 川口西公園で春に咲く花木を紹介した看板を公園内に３基設置し、看板と同内容のパンフレットを看板下に備え置くことで、公園利用者が常時自由にパンフレットを持ち帰りできるようにした。

	設置公園：川口西公園、川口西口緑地、青木町公園、新郷東部公園 並木元町公園、戸塚中台公園、前田東公園、川口自然公園 中青木公園
公園の樹木にふれあう 会中止	公園にある「どんぐり」や「枯木」等を活用した工作により、ものづくりの楽しさに加え、自然が生み出す形態の多様さや複雑さに触れ、樹木への興味と理解を深めることを目的とする工作教室を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。
情報の発信による利用 の促進	ホームページ (http://www.k-ryokuchi.com/kouen/) の活用に加えて、市広報誌、地域のフリーペーパー等、各種メディアへの情報提供により、公園の紹介、生息する生物の紹介、イベント等の情報を発信した。

②公園運営事業

川口市の設置する都市公園の指定管理者の指定を受け、公園の管理運営を通して公益事業を推進し、緑と水辺の環境保全に努めながら、市民生活にゆとりと安心を提供するため、各公園の特性や役割に応じた管理運営を行った。

■管理施設：

青木町公園	中青木公園	川口自然公園
川口西公園	川口西口緑地	ゴリラ公園
戸塚中台公園	並木元町公園	並木元町北公園
並木元町中公園	並木元町南公園	戸塚下台公園
新郷東部公園	前田東公園	上新田公園
朝日中央公園	北原台公園	

荒川運動公園〔公益目的（２）に基づく指定管理〕

〔管理公園総面積：737,112 m²〕

項 目	概 要
防災機能の向上	①帰宅困難者対策 埼玉県地域防災計画に基づき設置された川口駅周辺帰宅困難者対策協議会の構成員となり、災害時に駅から溢れた帰宅困難者が滞留する場になると想定される川口西公園での対応について協議等を行った。 第1回協議会：12月13日（火）通知 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議 情報伝達訓練：1月19日（木）午前10時～午前11時20分 電子メールによる情報伝達訓練 帰宅困難者対策訓練：2月8日（水）午前10時～正午

	一時滞在施設での受入準備、帰宅困難者の受入と物資の支給の流れについて確認を行う訓練 ②防火施設の保守 当公社で独自に公園へ整備した消火器等の防火施設の点検等を適切に行い、保守した。 ③AEDの設置 公園利用者が利用できる屋内施設がある公園にはAEDを設置し、点検等を毎日行って、緊急時に備えた。 設置公園：中青木公園、ゴリラ公園、新郷東部公園 ④防災用品の備蓄（災害支援職員用） 職員は災害時に公園等で災害支援を行うことを想定しており、職員の非常食等を備蓄した。 なお、社内防災訓練の一環として、備蓄する非常食の調査・研究を目的に、年2回保存期限が迫った職員用非常食を活用し、試作・試食を職員全員が任意の日に個々に実施した。 この評価をアンケート形式で収集し、備蓄非常食の最適化を図った。 アンケート期間：6月30日（木）～7月18日（月） 12月5日（月）～令和5年1月31日（火）
植物の保全と育成	①植栽樹木の保全と育成 公園に植栽されている樹木の健全な生育を助けるために、日照や健康状態に配慮した剪定や間伐を実施した。 加えて、青木町公園を春夏秋冬にゾーニングし、各季節に開花する花木を集中植栽して、四季のうつろいを感じることができる公園づくり等にも取り組んだ。 なお、近年カシノナガキクイムシの食害に起因するナラ枯れが、市内でも急速に拡大しており、川口市と連携を取りながら早期発見、防除、伐採等の対応に努めた。  戸塚中台公園ナラ枯れ被害木 ②芝生・草地管理

	芝生地・草地の管理は、ゴルフ場や野球場の管理によって培ってきた技術を活かし、直営作業による高頻度の草刈を実現することで、常時清々しい広場の維持を果たした。 なお、数年前に高麗芝からティフトン芝へ全面張替えを行った川口西公園の芝生広場は、生長が早いために、草刈りの頻度や施肥を高麗芝の倍にして、良好な状態を維持した。 ③草花管理 花壇植栽については、より少ない植栽頻度で最大の効果をあげるべく、種類の選択や植栽サイクルを開花期に合わせて細やかに設定するとともに、花の切り戻し作業等、長期間の開花を維持する管理を行った。 また、並木元町北公園における宿根草を使ったイングリッシュガーデン風の花壇の創出や、川口西公園における旧噴水施設を活用した現代的な花壇の整備に加え、川口西公園のプランターを一新し、デザイン性を重視した近代的な植栽を試みる等、草花による公園全体のイメージアップにも積極的に取り組んだ。 その他、川口西公園に設置した日本の四季を感じるための花壇は好評であり、これを継続し、季節ごとの日本の花の植栽や、稲の栽培、季節の風物の展示等を実施した。  近代的なイメージのプランター植栽  西公園の田植え ④令和4年度川口市先導的グリーンインフラモデル形成支援への協力 川口市のグリーンインフラ推進に関わる先導的モデル形成に向けての意見交換会に参加し、意見交換を行った。 参加会議：第2回庁内意見交換会 10月 7日（金） 第3回庁内意見交換会 11月24日（木） 第4回庁内意見交換会 1月17日（火）
安全で快適な空間づくりの推進	①安全の確保 危機管理能力の低い子供達が利用する遊具や親水施設について、専門的な点検や、月1回の定期的な点検等、きめ細やかな点検を実施するとともに、年間ほぼ休みなく配置する常駐作業員によって、不具合の早期発見、早期対処を実現した。 その他、公園で発生する様々な危険に対処するべく、昼間・夜間の警備パトロールの実施と、24時間の緊急時対応を実施し、必要に応

	じて警察とも協力しながら利用者の危険回避に努めた。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公園利用者が「密」な状態にならないよう、看板やパトロール等での啓発に努めた。 ②快適性の確保 常駐作業員による毎日の清掃で、恒常的に清潔な環境の確保に努めたが、より効果的な清掃の実現のため、清掃方法の見直しやマニュアル作りに積極的に取り組んだ。 大面積の草地については状況に応じた柔軟な除草作業を高頻度で行い、草地広場利用者のニーズに可能な限り応えるようにした。 施設の破損や故障については、常駐作業員や利用者からの連絡（園内各所に公社の連絡先を掲示している）等により早期に発見し、速やかな修繕を行った。さらに、直営による修繕技術の向上に努め、廉価でより専門的な修繕を実現するとともに、スケートパークの路面修繕や新郷東部公園のゴムチップ舗装修繕等、特殊な修繕については独自に修繕方法を研究し、効果を上げた。 また、公園の一般利用のほか、団体利用については、事前の予約受付や抽選等を行い、公平な公園運営に努め、抽選申込日を土日祝と平日に分けたり、利用時間帯の見直しを図るなど、利便性の向上にも努めた。 そのほか、市が許可する様々な公園の占用利用に対し、許可条件の遵守等、現場での細やかな指導を行うこと等により、占用利用者と一般利用者との調整を図った。 また、川口自然公園や新郷東部公園では、バードウォッチングや釣り等、様々な目的で自然との触れ合いを楽しむ利用者が訪れるため、目的に優劣をつけることのないよう留意し、誰もが気持ちよく自然を楽しめるよう、公平な管理に努めた。 さらに、近年幼児の間で急速に広まった遊具「キックバイク」の遊び場として、ゴリラ公園のBMXコースに、キックバイク優先時間を暫定的に設けるなど、社会情勢に応じた柔軟な運営にも努めた。
川口自然公園等池の富栄養化防止の研究と対策	当公社では、川口自然公園の池で問題となっているアオコ（植物プランクトン）の発生に対し、ホテイアオイを育成して水中の栄養分を吸収させることでアオコの減少を図ってきたが、平成24年度末に、川口市によって大規模な浚渫工事が実施され、長年の間に堆積したヘドロの除去が行われた。 これによって、池の栄養分は大きく減少したものと期待されたが、その後もアオコが発生しており、ホテイアオイの育成による水質浄化を継続して実施した。 なお、昨年度に続き、詳細な水質検査を実施したが、現況の水生生物の成育には支障の無い数値結果であった。 また、今年度は新たに、池に流入する湧水についても検査を行ったと

	ころ、湧水は河川からの流入水よりも栄養価が高い数値結果であった。 〔水質検査その１〕 実施日時：７月８日（金） 午後１時３０分採水 検査地点：川口自然公園修景池 ３地点 検査項目：水温、ｐＨ（水素イオン濃度）、ＣＯＤ（科学的酸素要求量）、ＳＳ（浮遊物質）、ＤＯ（溶存酸素量）、全窒素、全リン 以上７項目 〔水質検査その２〕 実施日時：７月２８日（木） 午前９時１５分採水 検査地点：川口自然公園湧水 検査項目：全窒素、全リン 以上２項目
--	---

③自然環境の保全と創出事業

公園が有する自然のうち、特に豊かで質の高い自然地、貴重な動植物が生息する自然地については、これを保護するとともに、さらに豊かな自然地の創出に努めた。

項 目	概 要
自然林、斜面林の保全	戸塚中台公園、戸塚下台公園、北原台公園の斜面林は、未来へ残すべき貴重な地域の自然地であり、これらがその価値を損ねないよう、立ち入り制限を行うとともに、除草や剪定作業にあたっても在来の植生に配慮した作業を行った。 また、植物だけではなく、斜面林に生息する生物の保全にも配慮し、指定管理公園のいくつかの公園では、カブトムシが自然発生する環境を維持した。  斜面林の希少種キンラン
湿地環境の保全	川口自然公園及び新郷東部公園の湿地環境は、未来へ残すべき貴重な地域の自然地であり、これらがその価値を損ねないよう、別途生物調査によって蓄積されたデータ等を基に、希少動植物の保護のための立ち入り制限を実施しているほか、水域確保のための浚渫や、侵略性の高い外来植物の駆除等を実施した。 また、一方では希少動植物に影響のない範囲で、利用者が自然との触れ合いを楽しめるような環境整備を積極的に進めた。
草地環境の保全	市内に自然豊かな草地環境が減少する中で、公園の広場の一部の草刈り頻度を落とし、多様な生物が生息できる草地環境の創出に取り組んで

	おり、生物調査においても、草地の昆虫類が増えたことが報告された。 また、利用者にこの取り組みを紹介し、活用を促した。
川口自然公園蝶類保護管理区の保全	豊かな自然創出を目的に、当公社が設置した蝶類保護管理区について、食草（幼虫が食する植物）の育成等、目的に即した管理を行った。
生物調査・植生調査	地球環境に適した多様な生物の維持を目的として、夏季における戸塚中台公園の植物調査を実施した。 調 査 日：8月8日（月） 調査項目：植物 調査結果：戸塚中台公園の植物調査は初めてであったが、86科226種類の植物が確認され、公園面積に比して多様な種類の自生が明らかになった。 重要種ではキンラン、ササバギンランが確認された。

④市民協働事業

市民協働による公園運営や公園づくりにより、地域コミュニティの活性化を図るとともに、専門的な知識や技術を有する市民の協力により、的確で効果的な運営を行った。

項 目	概 要
緑化推進や啓発等に関わる市民協働への参加と協力	①川口理科オリンピックへの協力と参加 自然現象に関する基礎的・基本的な知識を深め、理科の学力向上を図るとともに理科好きの児童・生徒を育成することを目的として開催された「第15回川口理科オリンピック」に対し、入賞記念品として科学器具を提供した。 また、当公社が推進する身近な生き物とのふれあいをベースにしたオリジナルの問題を作成し、オリンピッククイズでの設問とした。 主 催：川口市教育委員会 開催日時：8月10日（水） 午前9時～午後4時 場 所：新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインにより、各学校にて開催 提供内容：小学生の部優勝校 顕微鏡キット×2人分（1チーム） 中学生の部優勝校 天体望遠鏡×3人分（1チーム） 設問4問（昆虫2問、哺乳類1問、植物1問） ②川口グリーンフェスティバルへの協力 中止 川口グリーンフェスティバル実行委員会が主催し、川口市立グリーンセンターにおいて開催予定であった標記の事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

自然環境の保全等を目標とした市民協働の推進	①戸塚下台公園斜面林の保全 地域の貴重な自然林として残っている戸塚下台公園の斜面林を戸塚南小学校を中心とした市民との協働により保全した。 〔協働保全活動実績〕 6月11日（土）竹の間伐 10月22日（土）竹の間伐 2月 4日（土）竹の間伐及び除草清掃 オリジナル樹木名プレートの設置 ②戸塚下台公園流れの保全 戸塚下台公園の流れを自然豊かな水辺環境とするべく、戸塚児童センターあすばるとの協働により保全した。 ③新郷東部公園ヒガンバナ植栽 子供達の環境への関心や植物を愛する心を育むとともに、地域と子供達のつながりを促進することを目的として、平成30年度から新郷東小学校児童と協力して行っている本事業を継続して実施した。 協力児童：新郷東小学校4年生 71人 植栽日時：6月30日（木） 午前9時40分～午前10時25分 植栽場所：新郷東部公園B池周囲 植栽面積：60m×0.6m＝36㎡ 植 栽 数：ヒガンバナ球根 1,000球
公園運営に関わる市民協働	専門的な管理運営を要する、BMXコースやスケートパークを専門的知識を有する愛好者団体との協働により運営した。 ①ゴリラ公園BMXコースの協働 「非営利法人日本オフロードショートトラック連盟」の有志により、日常的にコース整備を実施した。 ②スケートパークの協働 スケート愛好者のマナー向上のために、「川口スケートパーク利用マナー向上委員会」の有志が、日常的に現場でのマナーの指導を行った。

公益目的事業（２） 国有地である河川緑地を市民の広域避難地として維持整備すること等による防災機能の向上、河川緑地に関する自然環境の保全と創出及び普及啓発並びに河川緑地を活用し、生涯スポーツ等を通しての市民の健全な心身の維持増進

①河川緑地（荒川運動公園）における防災機能の確保と向上事業

川口市地域防災計画に基づき、予測できない災害に対して、広域避難場所に指定される河川緑地の恒常的な機能確保と向上に努めた。

項 目	概 要
広域避難場所の機能確保と向上	①河川空間の維持整備 川口市地域防災計画に基づき、広域避難場所に指定される公園として、多様な防災機能を発揮するため、日常において市民の身体と生命の安全を確保できる場所にふさわしい河川空間の維持整備に努めた。 ②災害支援協力協定の継続 川口市と公社間の災害時における緊急避難場所の提供等に関する協定を引き続き締結した。 ③防災用品の備蓄（帰宅困難者用） 東日本大震災の教訓を活かし、災害時、河川緑地利用者が帰宅するために必要な、食料、飲料水、懐中電灯等２００人分を備蓄した。 ④防災用品の備蓄（災害支援職員用） 職員は災害時に公園等で災害支援を行うことを想定しており、職員の非常食等を備蓄した。 なお、社内防災訓練の一環として、備蓄する非常食の調査・研究を目的に、年２回保存期限が迫った職員用非常食を活用し、試作・試食を職員全員が任意の日に個々に実施した。 この評価をアンケート形式で収集し、備蓄非常食の最適化を図った。 アンケート期間：６月３０日（木）～７月１８日（月） １２月５日（月）～令和５年１月３１日（火）
広域避難場所の存在周知と防災訓練の実施	①防災クイズ 施設利用者の防災に対する意識向上と啓発を目的として、利用特典を付加した防災に関するクイズを、健康増進キャンペーンにおいて実施した。 ②平時における備蓄防災用品の活用 保全期限の迫った備蓄防災用品を更新するにあたり、備蓄品の試用

や備蓄状況の周知を目的として、更新した備蓄品を施設利用者等に試供した。

③新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、荒川運動公園管理棟において、ゴルファー等公園利用者への感染症対策の基本の周知を行うとともに、最新の情報を基に、職員に感染症対策に関する研修を随時実施した。

④かっぱの火けしたい

河川緑地を始めとする市内災害時避難場所を広く周知するとともに、防災意識の向上と技術習得を目的として、河川緑地において訓練用消火器を使用した防災ゲームを行った。



場 所：川口市浮間ゴルフ場

日 時：10月30日（日） 午前10時～午後3時

※荒川ふれあいまつりのイベントとして実施

対 象：荒川ふれあいまつり来場者

参加人数：約300人

⑤防災訓練（地震想定）

当会社が管理運営する各施設において、地震が発生した場合の職員の適切な行動と対応を習得することを目的として、防災訓練を実施した。

場 所：荒川運動公園管理棟

日 時：3月15日（水）

A班 午前10時55分～午前11時45分

B班 午後1時40分～午後2時30分

⑥防災訓練（火災想定）

荒川運動公園管理棟において、火災が発生した場合の職員の適切な行動と対応を習得することを目的として、防災訓練を実施した。

場 所：荒川運動公園管理棟

日 時：3月15日（水）

A班 午後2時40分～午後3時10分

B班 午後3時20分～午後3時50分

⑦救命救急への対応

職員全員が定期的に普通救命講習を受講し、災害時には率先して救命にあたる体制を維持した。

自然現象による洪水被害に対する河川緑地の復旧と対策	①関係機関との事前協定 予想される台風等の影響による河川敷の冠水被害に対し、速やかな復旧作業を可能とするべく、事前に造園土木業者との協定を締結した。 ②河川緑地の構築物撤去（訓練） 台風接近に伴う構築物撤去計画に基づき、撤去訓練を行った。 撤去訓練実施日：5月16日（月） ③機材の確保と整備 予測できない洪水に備え、常時復旧作業に使用する機材等を確保するとともに、即時使用可能な状態に整備した。
----------------------------------	--

②河川緑地（荒川運動公園）に関する自然環境の保全と創出及び普及啓発事業

河川緑地（荒川運動公園）は荒川に生息する生物の貴重な繁殖地や休息地、採餌場所等となっており、これらの機能を保全、創出するとともに、広く市民に紹介した。

項 目	概 要
荒川河川緑地の自然再生と保全	①池環境の保全 令和元年の台風第19号による冠水被害で、場内の池に堆積したヘドロの除去と、ゆりコース1番ホールの池周囲の土留め補修を行った。 工事期間：1月11日（水）～ 3月10日（金） ②ビオトープの保全 河川緑地に設定したビオトープを、生物の生息空間として維持管理した。 ③親水護岸等自然地の保全 親水護岸の自然地や修景池周囲の自然地を、生物の生息空間として維持管理した。

生物調査・植生調査	地球環境に適した多様な植物の維持を目的として、夏季における荒川運動公園の生物調査を実施した。 調 査 日：8月5日（金）、8月26日（金） 調査項目：昆虫・クモ類調査 調査結果：昆虫の調査は今回で4回目であり、季節を変えて実施した過去3回の調査と合わせて、85科310種類の昆虫が荒川運動公園に生息していることが確認された。 希少種はキイトトンボやショウリョウバッタモドキが今回新たに確認された。 クモ類も同様に21科99種類が確認された。 クモ類では希少種の発見は無かった。  キイトトンボ  ショウリョウバッタモドキ
「水辺の楽校」事業	①荒川の自然と遊びの教室 荒川河川緑地の生物とふれあい、荒川の自然についての理解や認識を深めてもらうことを目的として、ゴルフ場内の池や水路での魚捕りや堤防での昆虫採集等の遊びを含めた自然観察会を実施した。 〔池や水路の生物を対象とした教室〕 原町小学校1年生および特別支援学級対象（59人） 5月20日（金） ゴルフ場内水辺の生き物捕り 飯仲小学校1、2年生および特別支援学級対象（177人） 6月3日（金） ゴルフ場内水辺の生き物捕り 飯塚小学校2年生対象（117人） 7月1日（金） ゴルフ場内水辺の生き物捕り 南平幼稚園 6月20日（月） ザリガニ35匹を提供 舟戸幼稚園 6月22日（水） ザリガニ50匹を提供  飯仲小学校の教室  飯塚小学校の教室

〔陸生の生物を対象とした教室〕

仲町小学校 1、2 年生対象（188 人）

9 月 22 日（木） 河川敷の昆虫採集



仲町小学校の教室



〔陸生の生物を対象とした教室（むしむしらんど）〕

荒川河川緑地に生息する昆虫のうち、バッタの多様さをメインに紹介し、河川緑地の価値や魅力を知ってもらうため、今年度新たに製作したバッタプレート等を活用し、クイズ形式のゲームイベントを開催した。

場 所：川口市浮間ゴルフ場

日 時：10 月 30 日（日） 午前 10 時～午後 3 時

※荒川ふれあいまつりのイベントとして実施

対 象：荒川ふれあいまつり来場者

参加人数：約 100 人

〔親水護岸での教室開催に向けた調査、研究〕

国土交通省による親水護岸整備の完了に伴い、親水護岸を活用した自然体験教室の開催に向けて、親水護岸に続く干潟の調査や教室運営についての研究を行った。

②荒川の自然にふれあう会

荒川河川緑地の生物とふれあい、荒川の自然についての理解や認識を深めてもらうことを目的として、川口市浮間ゴルフ場を開放し、市民を対象とした自然観察会を実施した。

開 催 日：7 月 18 日（月）

時 間：午前 8 時 30 分～午後 0 時 30 分

参加者数：市内在住親子 109 組 375 人

（応募数 120 組 424 人）



	※「水辺の楽校」について 長年継続、拡大してきたこれらの実績が認められ、活動場所である荒川運動公園は、国土交通省が水辺での活動を安全かつ充実したものとするために必要な整備を行うプロジェクト「水辺の楽校」に、平成21年3月31日付で登録された。
荒川の自然環境の保全と創出等を目指した市民協働の推進	荒川の環境改善のために、ゴミ拾いや環境学習等を実施している市民ボランティア活動に対し、お互いに情報交換や人材派遣を行う等、協働を積極的に推進した。 親水護岸を活用した自然体験教室の研究についても市民団体と協力して行った。 ①夏休み川口水辺の楽校 2022 への協力 小学生高学年を対象とした荒川河川敷（水辺の楽校エリア）の水質調査、自然観察を行う下記の事業に協力した。 主 催：荒川夢クラブ 開 催 日：7月29日（金） 午前9時～午前11時30分 参加者数：市内小学生4年生～6年生 10人 協力内容：活動場所の整備、樹木名ラベル素材の提供 荒川運動公園管理棟の利用、自然観察指導 ②中学生体験ボランティア活動の協力 中学生を対象とした荒川河川敷（水辺の楽校エリア）のゴミ拾い、水質調査、自然観察を行う下記の事業に協力した。 主 催：荒川夢クラブ 開 催 日：8月7日（日） 参加者数：市内中学生 10人 協力内容：活動場所の整備
市民と連携した「荒川ふれあいまつり」の開催	荒川の緑と水、自然とふれあうことで市民に心の安らぎと潤いをもたらすとともに、広く広域避難場所としての周知を図ることを目的に、川口市浮間ゴルフ場を会場として、「川口市浮間ゴルフ場ふれあいまつり2022」を開催した。 本イベントは台風被害や新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年度から3年間開催を見合わせており、4年ぶりの再開となった。

	また、同時に開催された、市民ふれあい祭り実行委員会主催による「荒川ふれあいまつり 2022」に対し、会場提供や「荒川ふれあいまつり協賛ゴルフコンペ」への施設提供等の協力を行った。 開催日時：10月30日（日） 午前10時～午後3時 来場者数：約32,000人  
荒川桜堤、荒川防災船着場花文字花壇等、指定管理による魅力創出	河川緑地における都市公園「荒川運動公園」の指定管理者となり、荒川桜堤、荒川防災船着場花文字花壇等に四季折々の花を開花させることにより、河川緑地の魅力を創出した。
情報の発信による利用の促進	ホームページ、広報誌、各種メディアを活用し、生息する生物の紹介、各種イベントなどの情報を発信した。 また、荒川の魅力紹介の一つとして製作したリーフレット「荒川散歩で見つかる植物」及び「親子で楽しむ土手のむし」を、荒川を訪れる方が自由に手に取って活用できるよう、屋外用チラシケースを使用して荒川桜堤等に配置した。 さらに今年度新たに自然啓発を目的とした各種イベント等で活用するため、バッタやキリギリスの種類を紹介するレジャーシートやプレートを作成し、同様の目的で市内で見られる蝶の羽をデザインした垂れ幕を作成した。 これらは「荒川ふれあいまつり」の自然啓発イベントで活用した。

③河川緑地を活用し生涯スポーツ等を通しての市民の健全な心身の維持増進事業

都市の中でオープンスペースの確保が困難な中、河川緑地を活用し、誰もが気軽に参加できる生涯スポーツ、レクリエーション等の機会を市民に提供し、市民の健全な心身の維持増進に寄与した。

項 目	概 要
生涯スポーツ、レクリエーション施設の運営	健康増進を目的として、乗用カートを使用しないゴルフ場9ホールのさざんかコース及び3ホールのゆりコースを運営した。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次のとおり各種対策を講じているが、重症化リスクの低い変異株への移行による国の制限緩和に伴い、段階的に制限を解除した。

A ゴルフ場運営における制限

レストランの座席制限、浴室の利用制限等

※今年度解除した制限

酒類提供時間の制限 ロッカー利用の制限

B 大会等の中止

主要なゴルフ大会の中止

※今年度再開した大会等

オープンコンペ(ハーフ限定)、教室、キャンペーン

C その他感染防止対策

- ・屋内施設、送迎車内ビニールカーテンによるセパレート
- ・屋内施設、送迎車の換気及び除菌の徹底
- ・マスクの着用、手指消毒の徹底（職員、利用者共）
- ・ソーシャルディスタンス確保のためのフローア表示やお願い
- ・キャッシュレス決済の推奨等

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じながら、事業目的達成のため下記のとおりサービスを行った。

①シルバー割引（満65歳以上）

満65歳以上のさざんかコース利用者を対象に割引サービスを実施した。

②ジュニア割引（満18歳未満）

満18歳未満のさざんかコース利用者を対象に割引サービスを実施した。

③1ラウンドプレー昼食サービス

さざんかコース1ラウンドプレー（18ホールプレー）する利用者に無料の昼食サービスを実施した。

④1.5ラウンド割引

さざんかコース1.5ラウンド以降の利用料金の割引を実施した。

⑤ゆりコース団体利用サービス

ゆりコースをゴルフスクール等の団体が利用する場合、貸切で利用できるサービスを実施した。

⑥早朝割引

	早朝利用者のさざんかコース利用料金の割引を実施した。 〔早朝利用期間：４月２日（土）～１１月１３日（日）〕 ⑦薄暮割引 土曜日、日曜日及び祝日の夕刻利用者のさざんかコース利用料金の割引を実施した。 〔令和４年１月３０日（日）～１０月１０日（月）〕 〔令和５年１月２９日（日）～〕 ⑧「市内中小企業勤労者等さざんかコース割引利用券」の発行 公益財団法人川口市勤労福祉サービスセンターが行う市内中小企業勤労者の福利厚生事業とタイアップして、市内の中小企業勤労者を対象とする割引券を発行した。 〔夏季：令和４年７月１６日（土）～９月２９日（木）〕 〔冬季：令和５年１月４日（水）～３月１６日（木）〕 ⑨粗品サービス クリスマス等、各種季節イベント時の来場者に粗品をプレゼントするサービスを実施した。 ⑩ポイントサービス さざんかコース及びゆりコースの利用１回につき１ポイントを付加し、それぞれ合計したポイント数により、施設使用料が割引となるサービスを実施した。 ⑪レディースデーポイントサービス 特定の曜日にさざんかコースを利用した女性を対象に、利用１回につき２ポイント付加するサービスを実施した。 ⑫得得デー・ダブルポイントサービス 特定の金曜日を得得デーとし、さざんかコース利用者を対象に、利用１回につき２ポイント付加するサービスを実施した。 特定金曜日：４月８日、７月２２日、１月６日、１月２０日、 ２月３日、２月２４日 ⑬ホールインワン記念サービス ゴルフ場利用者がホールインワンを達成した場合、一緒にプレーした利用者を含めて記念品（オリジナルタオル）を進呈するサービスを実施した。 また、記念写真を撮影して進呈するとともに、エントランスホール
--	---



にホールインワン達成者の掲示板を設置し、掲示した。

4月～3月 ホールインワン達成者：さざんかコース6番 5人



さざんかコース9番 1人

ゆりコース1番 1人

ゆりコース3番 1人

⑭エイジシュート記念サービス

ゴルフ場利用者がエイジシュート（自分の年齢以下のスコアでプレーすること）を達成した場合、記念品（オリジナルゴルフボール）を進呈するサービスを実施した。

4月～3月 対象となるゴルフ大会が中止のため該当者なし。

⑮猛暑対策

夏の異常気象により、猛暑が続いた中で、利用者の熱中症等の対策として、熱中症対策飲料、冷却グッズ等の熱中症予防用品の販売を行った。

また、発症者が出た場合の対策として、職員全員が普通救命講習を受講したほか、早朝ゴルフ担当パート職員等は熱中症対策講習を受講した。

さらに、救護用の車両、簡易ベッド、水、冷却剤等の救急資材を常備するとともに、管理棟にはAEDを設置し、毎日の点検等を行い、緊急時に備えた。

⑯視覚障害者団体へのゆりコース及びさざんかコースの提供

歩くゴルフによる健康増進を障害者にも普及すべく、定期的（月1回日曜日）に施設を提供し、視覚障害者団体がプレーを行った。

⑰学校教育への協力

健全な心身の育成を目的として、学校教育の一環で行うゴルフ等に優先的に施設を提供する等、積極的に協力した。

⑱ふるさと納税返礼品としての活用

川口市のふるさと納税返礼品として、さざんかコース利用券を提供した。

⑲情報提供

各種メディアやホームページ(<http://www.k-ryokuchi.com/ukima/>)を通して、タイムリーな施設の情報を提供した。

生涯スポーツ、レクリエーション施設の貸与	都市の中でオープンスペースの確保が困難な中、河川緑地を活用し、誰もが気軽に参加できる生涯スポーツ、レクリエーションの機会を市民に提供し、市民の健全な心身の維持増進に寄与するため、荒川運動公園野球場（１面）及びラグビー場（１面）施設を貸与した。
市民の健康増進スポーツ教室の開催	市民の健全な心身の維持増進に寄与するため、スポーツ教室を開催した。 ①ゴルフ再挑戦！サポート教室 しばらくゴルフから遠ざかっていた人や若干ゴルフの経験はあっても基本を習得していない人で、健康のためにゴルフに再挑戦、または継続していきたいと考える人をサポートすることを目的に、ゴルフの基本を習得する教室を開催した。 ■ ４月の教室 開催日：４月９日（土）、４月１６日（土）、４月２３日（土） 会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース、さざんかコース 参加者：１５人 ■ １１月の教室※ 開催日：１２月３日（土）、１２月１０日（土）、 １２月１７日（土） ※雨のため順延 会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース、さざんかコース 参加者：１３人 ②ゴルフを続けよう！若者ゴルファーサポート教室 コロナ禍の影響により新たにゴルフを始めた若者が増えたことから、健康のために長くゴルフを継続していきたいと考える若者ゴルファーをサポートすることを目的に、ゴルフの基本を習得する教室を開催した。 ■ ６月の教室 開催日：６月１８日（土）、６月２５日（土）、７月２日（土） 会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース、さざんかコース 参加者：１６人 ■ １月の教室 開催日：１月２１日（土）、１月２８日（土）、２月４日（土） 会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース、さざんかコース 参加者：１２人



③ふれあいまつり・ラグビー教室

荒川ふれあいまつり会場において、来場者を対象にシンプルなゲーム形式によるラグビー教室を開催した。



開催日：10月30日（日）

会場：川口市浮間ゴルフ場（ふれあいまつり会場）

指導者：川口市ラグビーフットボール協会所属 J R F U 公認指導者等

市民の健康増進スポーツ体験

施設を活用した子供から高齢者まで気軽に参加できるスポーツ体験事業を行った。

①さざんかコースデビュー・ゴルフ再挑戦お助け隊

川口市浮間ゴルフ場さざんかコースにおいて、特定の予約日時を設け、職員が同行してプレー手順やルール、マナーのアドバイスを行うことで、初めてのさざんかコースプレーを補助し、健康増進としての「歩くゴルフ」を推進した。

開催日	参加人数	開催日	参加人数
4月19日（火）	6人	10月17日（月）	7人
5月30日（月）	8人	11月14日（月）	3人
6月19日（日）	8人	12月12日（月）	6人
6月27日（月）	3人	1月16日（月）	雨天中止
7月27日（水）	5人	2月15日（水）	6人
8月15日（月）	5人	3月6日（水）	8人
9月12日（月）	8人		

②若者ゴルファーお助け隊

コロナ禍の影響により新たにゴルフを始めた若者の利用が増えたことから、若者に対象を絞った「お助け隊」を開催した。

開催日	参加人数	開催日	参加人数
5月14日(土)	6人	10月23日(日)	8人
8月28日(日)	3人	11月23日(水)	雨天中止
9月23日(金)	5人	3月19日(日)	8人

③歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室

生涯楽しめる健康スポーツとしてのゴルフを通じ、市民の健全な心身の維持増進を図ることを目的として、60歳以上のシニアを対象にアイアン2本とパター1本のみの使用を基本とした、ゴルフ体験教室を開催した。

■春の教室

開催日：5月24日(火)、5月31日(火)、6月7日(火)

会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース

参加者：16人



■秋の教室

開催日：11月8日(火)、15日(火)、22日(火)

会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース

参加者：16人

④コースデビュー体験ラウンド

ゆりコース登録団体のうち、過去1年以内に団体貸切利用の実績がある団体に、さざんかコース営業日の最終スタート枠を提供し、コースデビューを応援した。

市民の健康増進キャンペーン

河川緑地を活用して健康増進を図ることを目的とした、各種キャンペーンを実施した。

①春休み親子でゴルフキャンペーン

健康スポーツとしてのゴルフや親子のふれあいを通じ、心身の健全な育成を目的として、児童・生徒が春休みの期間、保護者同伴の中学生以下のさざんかコースプレー料金を大幅に割引くキャンペーンを実施した。

	実施期間：令和４年３月１４日（月）～４月１０日（日） 令和５年３月１３日（月）～４月 ９日（日） ②ゴールデンウィーク健康増進キャンペーン ゴールデンウィークを健康増進推進強化期間とし、ゴルフ場利用料金の特別割引や、ドリンクサービス等を行い、一層の利用の促進を図った。 また、このキャンペーン情報を幅広く発信するため、チラシの配布やダイレクトメールの発送等を行った。 実施期間：４月２９日（金）～５月８日（日） ③健康増進“ゴルフで歩こう！”キャンペーン 健康増進を目的に、乗用カートを使用せず、歩いてゴルフを楽しむことを推奨するため、また、同時に防災に関する意識の向上を図るため、ゴルフ場利用者に防災に関するクイズを出題し、正解者の中から抽選で賞品が当たるキャンペーンを行った。 実施期間：６月１日（水）～６月３０日（木） １０月１日（土）～１０月３１日（月） １１月１日（火）～１１月３０日（水） ④夏休み親子でゴルフキャンペーン 健康スポーツとしてのゴルフや親子のふれあいを通じ、心身の健全な育成を目的として、児童・生徒が夏休みの期間、保護者同伴の中学生以下のさざんかコースプレー料金を大幅に割引くキャンペーンを実施した。 実施期間：７月１６日（土）～８月３１日（水） ⑤健康増進サマーキャンペーン 健康増進を目的に、ゴルフ場利用料金の特別割引や、ドリンクサービス等を行い、一層の利用の促進を図った。また、このキャンペーン情報を発信するため、チラシ配布やダイレクトメールの発送等を行った。 実施期間：７月１６日（土）～９月２９日（木） ⑥川口市浮間ゴルフ場夏祭り 健康増進を目的として、下記の期間、粗品が当たる抽選会を開催し、一層の利用の促進を図った。また、この祭りの情報を幅広く発信するため、リーフレットの配布等を行った。 実施期間：８月６日（土）～８月１４日（日） ⑦「老人週間」健康増進キャンペーン
--	---

	高齢者の健康増進を目的として、キャンペーンの期間中のポイント付加を通常の倍とし、高齢者の利用の促進を図った。 実施期間：9月15日（木）～9月21日（水） 対 象 者：65歳以上のさざんかコース利用者 但し、早朝ゴルフを除く ⑧冬休み親子でゴルフキャンペーン 健康スポーツとしてゴルフや親子のふれあいを通じ、心身の健全な育成を目的として、児童・生徒が冬休みの期間、保護者同伴の中学生以下のさざんかコースプレー料金を大幅に割引くキャンペーンを実施した。 実施期間：12月19日（月）～1月31日（火） ⑨健康増進ウインターキャンペーン 健康増進を目的に、ゴルフ場利用料金の特別割引や、ドリンクサービス等を行い、一層の利用の促進を図った。また、このキャンペーン情報を発信するため、チラシ配布やダイレクトメールの発送等を行った。 実施期間：1月2日（月）～2月28日（火）																																												
市民の健康増進スポーツ大会の開催	健康増進を目的として、施設を活用したスポーツ大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主要な大会を中止としたが、オープンコンペについてはハーフプレー形式により数多く開催した。 <table><tr><th>大 会 名</th><th>開 催 日</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>川口市浮間ゴルフ場杯 春</td><td rowspan="3">令和4年度事業計画において中止</td><td rowspan="3">—</td></tr><tr><td>川口市浮間ゴルフ場杯 秋</td></tr><tr><td>春のシルバーオープンコンペ</td></tr><tr><td>日曜ハーフオープンコンペ①</td><td>5月22日（日）</td><td>106人</td></tr><tr><td>平日ハーフオープンコンペ①</td><td>6月10日（金）</td><td>101人</td></tr><tr><td>平日ハーフオープンコンペ②</td><td>6月24日（金）</td><td>103人</td></tr><tr><td>日曜ハーフオープンコンペ②</td><td>7月 3日（日）</td><td>101人</td></tr><tr><td>平日ハーフオープンコンペ③</td><td>7月 8日（金）</td><td>98人</td></tr><tr><td>秋のシルバーハーフオープンコンペ</td><td>9月 9日（金）</td><td>133人</td></tr><tr><td>日曜ハーフオープンコンペ③</td><td>10月16日（日）</td><td>110人</td></tr><tr><td>平日ハーフオープンコンペ④</td><td>11月11日（金）</td><td>108人</td></tr><tr><td>日曜ハーフオープンコンペ④</td><td>11月20日（日）</td><td>98人</td></tr><tr><td>平日ハーフオープンコンペ⑤</td><td>11月25日（金）</td><td>104人</td></tr><tr><td>平日ハーフオープンコンペ⑥</td><td>12月 9日（金）</td><td>100人</td></tr><tr><td>日曜ハーフオープンコンペ⑤</td><td>12月18日（日）</td><td>104人</td></tr></table>	大 会 名	開 催 日	参加人数	川口市浮間ゴルフ場杯 春	令和4年度事業計画において中止	—	川口市浮間ゴルフ場杯 秋	春のシルバーオープンコンペ	日曜ハーフオープンコンペ①	5月22日（日）	106人	平日ハーフオープンコンペ①	6月10日（金）	101人	平日ハーフオープンコンペ②	6月24日（金）	103人	日曜ハーフオープンコンペ②	7月 3日（日）	101人	平日ハーフオープンコンペ③	7月 8日（金）	98人	秋のシルバーハーフオープンコンペ	9月 9日（金）	133人	日曜ハーフオープンコンペ③	10月16日（日）	110人	平日ハーフオープンコンペ④	11月11日（金）	108人	日曜ハーフオープンコンペ④	11月20日（日）	98人	平日ハーフオープンコンペ⑤	11月25日（金）	104人	平日ハーフオープンコンペ⑥	12月 9日（金）	100人	日曜ハーフオープンコンペ⑤	12月18日（日）	104人
大 会 名	開 催 日	参加人数																																											
川口市浮間ゴルフ場杯 春	令和4年度事業計画において中止	—																																											
川口市浮間ゴルフ場杯 秋																																													
春のシルバーオープンコンペ																																													
日曜ハーフオープンコンペ①	5月22日（日）	106人																																											
平日ハーフオープンコンペ①	6月10日（金）	101人																																											
平日ハーフオープンコンペ②	6月24日（金）	103人																																											
日曜ハーフオープンコンペ②	7月 3日（日）	101人																																											
平日ハーフオープンコンペ③	7月 8日（金）	98人																																											
秋のシルバーハーフオープンコンペ	9月 9日（金）	133人																																											
日曜ハーフオープンコンペ③	10月16日（日）	110人																																											
平日ハーフオープンコンペ④	11月11日（金）	108人																																											
日曜ハーフオープンコンペ④	11月20日（日）	98人																																											
平日ハーフオープンコンペ⑤	11月25日（金）	104人																																											
平日ハーフオープンコンペ⑥	12月 9日（金）	100人																																											
日曜ハーフオープンコンペ⑤	12月18日（日）	104人																																											

ファイナルハーフオープンコンペ	12月23日(金)	108人
日曜ハーフオープンコンペ⑥	2月12日(日)	114人
平日ハーフオープンコンペ⑦	3月10日(金)	111人
日曜ハーフオープンコンペ⑦	3月12日(日)	109人

①歩いて健康づくり・シニアミニコンペ

「歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室」または「歩いて健康づくり・シニアミニコンペ」の参加者を対象とし、教室同様アイアン2本とパター1本のみの使用を基本とした、健康増進のためのミニコンペを開催した。

■6月ミニコンペ

開催日：6月14日(火)

会場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース

対象：「歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室(春)」参加者
参加人数：15人

■9月ミニコンペ

開催日：9月13日(火)

会場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース

対象：「歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室」または「歩いて健康づくり・シニアミニコンペ」参加者
参加人数：18人

■11月ミニコンペ

開催日：11月29日(火)

会場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース

対象：「歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室(秋)」参加者
参加人数：15人

■3月ミニコンペ

開催日：3月14日(火)

会場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース

対象：「歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室」または「歩いて健康づくり・シニアミニコンペ」参加者
参加人数：25人

②元気いっぱい！ジュニアゴルフ大会2022 中止

(健康スポーツであると同時に、ルール・マナー重視のスポーツであるゴルフを通して、子供達の健全な心身を育むことを目的としたジュニアゴルフ大会) 開催予定日：8月21日(日)

市民交流事業の推進	川口市体育行政の一環として、市民スポーツの普及発展等を目的として開催されるスポーツ大会等に対し、荒川運動公園野球場及びラグビー場の優先利用を認めるなど、地域交流事業を推進・応援した。 優先利用（野球場） 少年野球強化大会 主 催：川口市少年軟式野球スポーツ少年団 優先日：2月と8月を除く毎月第2土曜日 優先利用（ラグビー場） 川口市ラグビーフットボール協会主催によるラグビースクール、競技大会等 主 催：川口市ラグビーフットボール協会 優先日：年間随時 特別営業（川口市浮間ゴルフ場さざんかコース） キューポラ川口ゴルフ大会 主 催：川口市老人クラブ連合会 開 催 日： 6月17日（金） 参加人数47人 10月28日（金） 参加人数35人 3月17日（金） 参加人数45人 無償貸与（ラグビー場及び野球場） 第7回川口市小学生タグラグビーフェスティバル 主 催：川口市ラグビーフットボール協会 開 催 日：12月18日（日） 参加人数：約200人
-----------	---

■川口市浮間ゴルフ場（さざんかコース／ゆりコース）・荒川運動公園野球場・荒川運動公園ラグビー場の利用状況

◎さざんかコース利用者数（9ホール・PAR35）

区 分	営業日数	一 般	満65歳 以上	満18歳 未満	合 計	1日平均
平 日	212日	5,384人	13,523人	38人	18,945人	89人
土日祝	117日	7,676人	3,301人	72人	11,049人	94人
合 計	329日	13,060人	16,824人	110人	29,994人	91人

区 分	営業日数	一 般	満65歳 以上	満18歳 未満	合 計	1日平均
土日祝薄暮	73日	1,013人	418人	10人	1,441人	19人

区 分	営業日数	利用者数	1日平均
早朝 平日	118日	3,337人	28人
早朝 土日祝	69日	3,318人	48人
合 計	187日	6,655人	35人

※上記の他追加利用人数：平日 3,512人 土日祝日 4,236人 早朝平日 29人 早朝土日祝 31人

※上記の他ポイントサービス利用人数：平日 1,854人 土日祝日 482人

※上記のうち親子でゴルフキャンペーン利用人数：平日 29人 土日祝日 32人

※上記の他土日祝日視覚障害者団体利用人数：17人

※上記の他「健康増進“ゴルフで歩こう！”キャンペーン」招待プレー利用人数：129人

◎ゆりコース利用者数（3ホールショートコース）

区 分	営業日数	利用者数	1日平均
平 日	185日	5,472人	29人
土日祝	112日	6,202人	55人
合 計	297日	11,674人	39人

※その他団体利用：46件（うち、視覚障害者団体利用8件）

※上記の他ポイントサービス利用人数：1,429人

◎川口市荒川運動公園野球場・ラグビー場利用件数

※1単位：2時間の利用

区 分	一般野球	少年野球	一般ラグビー	少年ラグビー	合 計
平 日	0単位	2単位	56単位	0単位	58単位
土日祝	119単位	27単位	140単位	139単位	425単位
合 計	119単位	29単位	196単位	139単位	483単位

収益事業 施設利用者の便宜を図る物品販売等の利用サービス促進事業

項 目	概 要
利用サービス促進事業	①物品の販売 川口市浮間ゴルフ場のマスコットをあしらったボールやボールペンを製作、販売する等、購買意欲をそそる商品の開発や、猛暑に合わせた冷却グッズの販売等、細かなニーズに合わせた商品の仕入れによって、販売促進を図った。 なお、「オリジナルボール販売促進キャンペーン」として下記の期間オリジナルボールの割引販売を実施した。 キャンペーン期間：7月16日（土）～9月29日（木） 1月2日（月）～2月28日（火） ②飲料・菓子類の販売 商品がマンネリ化しないよう、常に新しい商品の発見に努め、商品を回転させるとともに、より安い仕入れ方法の研究にも努め、収入の増大を図った。 また、ゴルフ場利用者のみならず、荒川河川敷を訪れる様々な利用者にも購入いただけるよう、PRを行った。

<事業報告の附属明細書について>

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。